347）　移ろう季節　　H13. 4. 16.

はらはらと桜の花が　　隙間(すきま)なく大地を埋める
繁縷(はこべら)の緑は萌えて　　野の花は風とたわむる

花の移ろう哀しき季節(とき)を　　君も何処(どこ)かで見てるでしょうか

うらぶれて散る花ありて　　誇らしく咲く花ありて
老いて行く春は愛(いと)しく　　熟(う)れて行く夏は疎(うと)まし

花は移ろい人はさすらい　　君は何処(いづこ)へ行くのでしょうか

果てしなく輪廻(りんね)のように　　人生は廻(めぐ)る想い出
黒髪はいつか変わりて　　楊貴妃桜(ようきひざくら)すがれて散りぬ

花は移ろい季節(とき)は過ぎ去り　君はどうしているのでしょうか

しとしとと雨の季節を　　ただ一人歩いています
君のこと思い浮かべて　　過ぎし日を胸に抱いて

出会いと別れ運ぶ季節よ　　もいちど君と回り逢いたい